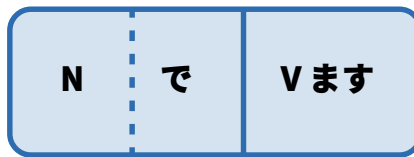


助-17

で (手段／材料)



N: 手段、材料
しゅだん ざいりょう

基 本

例 文

- ① 先生は赤いチョークで答えを書きました。
せんせい あか こた
か
- ② A: まりさんは何で学校へ来ますか。
なに がっこう き
B: 電車で来ます。
でんしゃ き
- ③ A: 先生、このことばの意味は何ですか。
せんせい い み なん
B: 辞書で調べてください。
じ しょ しら
- ④ コンピュータで絵をかくことができます。
え
- ⑤ A: おにぎりははしで食べますか。
た
B: いいえ。手で食べます。
て た
- ⑥ A: その荷物は何で送りますか。
に もつ なに おく
B: 航空便で送ります。
こうくうびん おく

解 説

- A. 「で」は、NがVの行為をするときの手段であることを示す。(例文①～⑥)
しゅだん こうい しゅだん しめ
- B. どんな手段かをたずねるときは「何で」を使う。(例文②⑥)
なに つか

例 文

- ⑦ 卵^{たまご}と野菜^{やさい}でサンドイッチ^{つく}を作^{つく}りましょ^うう。
- ⑧ くだ^つものでジュース^{つく}を作^{つく}る^{にんぎょう}ことができ^かます。
- ⑨ A:それは何^{なに}で^{つく}作^{つく}った人形^{にんぎょう}ですか。
- B:紙^{かみ}で^{つく}作^{つく}った人形^{にんぎょう}です。

解 説

- C. 「で」は、Nが何^{なに}か^{つく}を作^{つく}るとき^{ざいりょう}の材料^{しめ}であることを示^{しめ}す。(例文⑦⑧⑨)
- D. どんな材料^{ざいりょう}か^なをたずねるときは「何^{なに}で^{つか}」を使う。(例文⑨)

先生へ

- ◆ 「で」^{じょし}は助詞。
- ◆ 「何^{なに}で」は、「なんで」ということもある。

【関連項目】

- 助-09 で(基準／範囲)
- 助-11 で(場所)
- 助-27 で(原因／理由)

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-2 わたしは先生です
- 6-3 おねがいします
- ★ 6-4 名前を書いてください
- 7-5 どこで・どこを・どこから
- 7-6 うちから学校まで
- 7-8 どのコースがいいですか
- ★ 9-8 料理を作^{つく}りましょ^うう